

サイアム・フルカワ社（SFC）の今後の事業展開[†]

Business development of SIAM FURUKAWA CO., LTD.

徳山勝敏^{*}
Katsutoshi Tokuyama

1. 古河電池(株)の子会社として新たにスタート

サイアム・フルカワ社（SFC）は、タイの自動車及び二輪電池製造・販売会社で1992年にサイアムセメントグループ（SCC）と古河電池（FB）が夫々60%、40%出資設立し、FBの技術支援の下にSCCが主導的立場で経営に当たってきた会社で、その工場は1997年にバンコク市内よりサラブリー地区に移転竣工した最新鋭工場であります。

2002年2月に双方の合意が整い、FBが出資比率を71%に引き上げ（29%はSCC出資）子会社といたしました。これによりSFCはFBの自動車電池事業の国際展開と強化拡大の一翼を担って新たなスタートを切りました。

2. SFCの古河電池グループでの位置づけ

FBはSFCの子会社化により自動車・二輪電池事業に関して、一挙に低コスト・高品質生産能力の増強を実現することができました。今後SFCの強化によりアジア・中近東地区をはじめとして海外市場でのプレゼンスを更に高めるとともに、海外での生産販売活動の増強を図っておられる日本の自動車メーカー各社の拠点への電池の供給・サービスを拡大することによりFBと一体となってグループ全体の事業の相乗効果を挙げていくこととなります。

当面次によりSFCの生産販売活動を強化してまいります。

- ① 自動車・二輪電池ともに生産能力と生産品種を拡大して品揃えを充実していきます。

- ② 自動車用については、①の実現のため液入り充満みカルシウム電池の生産能力を大幅に増強中であります。タイの市場は即用電池が今までの大勢ですが、その補修市場に既にこの製品を「MF FB GOLD」のブランドで投入し好評を得ております。2002年年初よりタイ現地で有力日系自動車メーカーの新型車に唯一SFC製MF電池が採用され、更に続いて他のタイ現地有力日系自動車メーカーにもOE納入する運びとなっております。

- ③ 二輪電池については、FBグループ全体として、主力生産拠点として位置づけ、早期に生産体制を整備してまいります。タイ国内での販売拡大や海外市場への輸出のみならず、日本国内への輸出販売へと大きくFBの生産販売体制の転換を図ります。

3. 新経営資源の投入

SFCは、10年来FBの技術支援により技術面でも高水準にあります。また品質管理面ではQS9000の認証を、環境管理面ではISO14000の認証を取得しております。子会社化と同時に、より管理レベルの向上と生産販売力の強化のため経営陣・製造部門・管理部門にもFBより人材を新たに投入し、陣容強化を図りました。

既にFBの技術・販売部門・国際部門と一体になって活動をしてきておりますが、今後は更に密度の濃い、レベルの高い活動によりFBともども努力してCS向上につなげるとともに期待される相乗効果を挙げたいと考えておりますのでよろしくご支援お願いいたします。

^{*} 自動車電池事業部長

[†] サイアム・フルカワ社（SFC）の事業活動に関しては、弊社「FBテクニカルニュース」No.56, 87-89（2000.11.1）を参照ください。